

令和 7年度 7月 ひだまりの部屋 支援カリキュラム

前月の子どもの姿
・運動会などの大きな行事が終わり、子どもたちの様子も少しずつ落ち着いてきた。しかし、学期末になり心身共に疲れが出てきているため、発散できる活動を取り入れた方が良いか？ ・朝と夜で寒暖差が激しいため、体調を崩すが多い。汗をかいた時の始末、体温調節、咳エチケットなども見直していきたい。 ・話を聞く態度が悪くなっている様子は、あまり変化がなく引き続き見られている。 ・当番の仕事の一つとして、プランターの水やりをするようになった。始めたばかりでやり忘れてしまうこともあるものの、意外と水やりを楽しんでいる様子の子も多く、レタスの収穫の時にも楽しそうな様子が見られた。 ・フェルトを使った工作をするようになる。高学年の子が自分で縫っている様子を見て、小さい子たちもやりたがるという良い反応が見られた。小さい子も職員の見守りの元、自分で縫ってみる経験をしたが怪我をすることなくできた。

	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性	
ねらい	・自分で意識してロッカーの整理整頓や手洗いうがい等の日常動作を行おうとする。 ・清潔に留意し快適に過ごせるようにする。 ・自分の体調の変化を職員に知らせようとする。	・微細運動等を通して身体の細かな動かし方を身に付ける。 ・体力や筋力を付ける。 ・バランス感覚を養う。 ・姿勢保持ができるようになる。 ・手と目の協応を促す。	・手と目の協応を促す。 ・課題や状況に合わせた適切な行動ができる。 ・はさみ等身近な道具の使い方を身に付ける。 ・集団の中での適切な行動形成を促す。 ・色や材質の変化を感じ取ることができる。	・当番等を通じて友だちの前で話す経験をする。 ・遊びを通して様々な相手と関わる機会を持つ。 ・落ち着いて相手の話に耳を傾けようとする。 ・小集団の中で、自分の意見を話すことができる。	・友だちや職員と協力したり相談したりしながら活動を進めていく経験をする。 ・外出先では場の状況に合わせて行動しようとする。 ・自分の役割に責任を持って取り組む。 ・非常時にどう行動すれば良いかを知る。 ・お出掛けを通して施設外の地域の人と交流する機会を持つ。	
内容	・毎日の健康観察 ・日常のロッカーの整理整頓 ・手洗いうがい ・生活習慣の指導（1回/月）	運動あそび（ボールキャッチ）		当番の仕事（食事の挨拶・プランターの水やり）		
		工作（廃材工作）		全員ババ抜き	クッキング	
		プール	感覚遊び（スライム・マーブルング・シャボン玉・泡）	ドミノ	火災訓練	
				ゲーム大会	交通安全教室	
				お出掛け（ガーデンパーク・地下資源館・工場見学）		

反省 気づき	
その他	

確認印

--	--	--	--	--